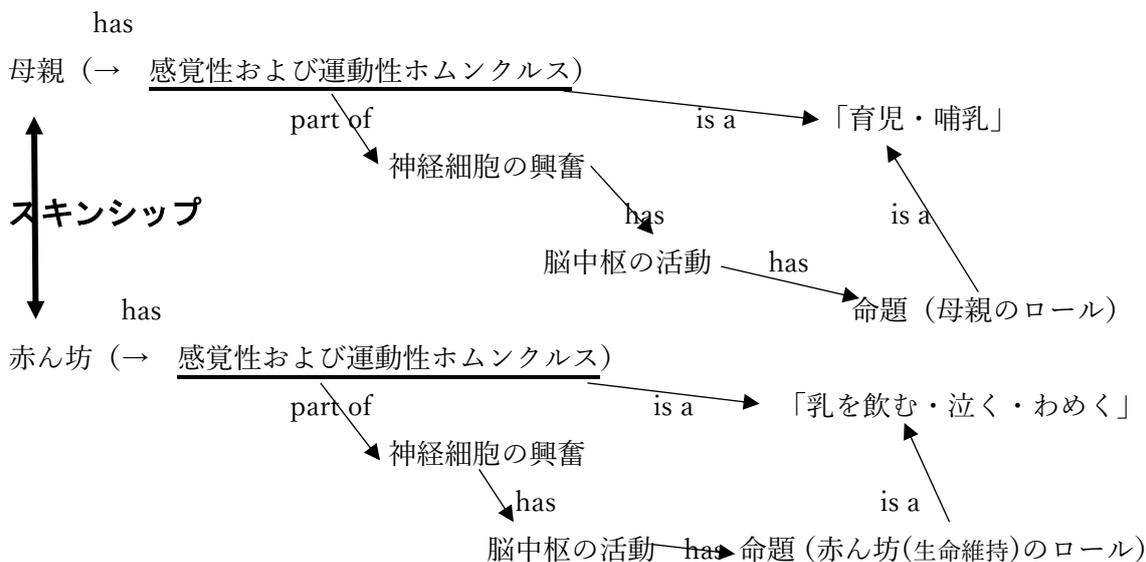


**図表1 誕生から2, 3か月母と赤ん坊間の通信情報ループ**



**図表2 本論文の提案結果の成果として期待できるのは：**

- ・現状の世界における諸勢力の対立を超えての情報通信上での意見の発表が可能となる。  
対立：国家間、イデオロギー間、民族間、部族間、を和らげる  
(7レイヤの第6,7階層にAI翻訳機能を織り込む、絵文字、ピクトグラム、幼児教育)
- ・国家や資本や民族等の勢力による、情報通信システムの一党壟断を防ぐ。  
(f.f.等対策用センターを備えた透明電気通網)
- ・テキスト映像音響メディアを超えたコミュニケーションが可能とすることで、高度化MMIによる顔表情仕草等から信念・欲求・意図を読み取り、法的対応としての取り組みも十分出来るものとなる。
- ・情報ランク付けによる、災害時の通信トラヒックの妥当な規制と被害の拡大防止
- ・社会的弱者への理解・共感をたかめる情報流通システムとMMIのデジタル高度化

**【主要参考文献】**

- (1) マルクス・ガブリエル「世界史の針が巻き戻るとき」 翻訳者大野和基 PHP 新書  
(株)PHP 研究所 2020年2月28日
- (2) 林香里「怒り・悲しみを集めて共有を」朝日新聞 (論壇・時評) 2021.4.29
- (3) 三宅 優「ITU-Tにおける2030年のネットワークに向けた議論」  
電子情報通信学会誌 Vol.104, No.5, 2021
- (4) 林紘一郎 「情報法のリーガルマインド」勁草書房 2017.02.20
- (5) 森田英夫 35<sup>th</sup>, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43<sup>rd</sup> 情報通信学会 2017~2020 において透明基幹電気通信網、情報における自己責任命題と法規制、SNS@情報通信の特性、デジタル化@オントロジー (ロール概念)、乳幼少年期の情報通信環境@オントロジー等に関して発表